**市民革命の意義と法の役割について考え，理解しよう！**

　　　組　　　番　名前　　　　　　　　　　　　　　　【　　　/　13点　】

**使う資料**　資料集ｐ.30Ｂ，31Ｃ，32①

**知・技**　(1)　p.30Ｂアメリカ独立宣言とp.31Ｃフランス人権宣言を読んで，国民が生まれながらにもっているとされた権利を書きましょう。２つの宣言文に共通していなくてもかまいません。【　　　/　4点　】

**知・技**　(2)　ロックは名誉革命を理論的に支持し，その後の市民革命に影響を与えました。右の資料を読んで，資料の下線部と共通の内容を表す箇所を，p.30Ｂアメリカ独立宣言の中から抜き出してみましょう。 【　　　/　2点　】

ロック『統治二論』（要旨）

人々は，自分たちの生命・自由・財産をもつ権利などを守るために，自分たちが選んだ人々に権力を託し，政府（議会）をつくる。もし，政府が人々の信任に背き，これらの権利を侵そうとした場合には，人々は新しい政府をつくることができる。

**知・技**　(3)　現在，世界各地で民主化を求める動きがあります。例えば北アフリカや中東の国々では，2010年末～2012年にかけて，民主化を求める反政府デモが発生し，「アラブの春」とよばれました。なぜ，このような運動が起きたのでしょうか。イギリスやアメリカ，フランスで起こった市民革命との共通点に注目して考えましょう。 【　　　/　3点　】

市民革命前のイギリスやアメリカ・フランスも，現在，世界各地で民主化を求めるデモが起きている国も，【**①** 】

ため，政府をたおして，【**② 】**

社会を実現しようとしたからである。

このような，人々は政府をつくりかえることができる，という思想は【③　　　　　　　】がとなえ，アメリカ独立宣言やフランス革命に影響を与えた。

**知・技**　(4)　市民革命によって制定されるようになった法（憲法）とはどのような役割（目的）をもっているのでしょうか。また，憲法はだれが守らなくてはならないのでしょうか。p.30Ａ，p.32①も参考にして，歴史的背景もふまえて説明してみましょう。 【　　　/　4点　】

**市民革命の意義と法の役割について考え，理解しよう！　答と解説**

(1)　自由権　／平等権　／　生命をおびやかされない権利　／　幸福（の）追求権　【順不同。各1点】

**採点チェック**

〇「権」「の権利」はなくても可。「生命をおびやかされない権利」は，「生命」「生命権」「生命に対する権利」などでも可

(2)　ⓐこれらの権利を確保するために人類のあいだに政府が組織されたこと，そしてⓑその正当な権力は被治者の同意に由来する　　【2点】

**採点チェック**

〇該当部分が正しく抜き出せている…下線ⓐ，ⓑの部分〈各１点〉。模範解答の前後の文言があっても許容。

* 下線ⓐ…人権を守るために政府がつくられた（権力は人権を守るためにのみ行使される）。
* 下線ⓑ…自分たちが選んだ人に権力を託した（政府（統治者）の権力は被治者(国民)から託された）。

(3)①国王や政府が独裁政治(専制政治)を行い，国民の自由が虐げられていた

②（国民が政治権力をもち，基本的）人権が守られる

③ロック【①～③各１点】

**採点チェック**

①は，「政府が国民の基本的な権利を守ることができていない」「国が守るべき国民の権利を侵害していた」などでも正解。

(4)　憲法は，ⓐ絶対王政の下で国王が権力を濫用して国民の人権を侵害した歴史をくり返さないように，ⓑ政府や国王の権力を制限してⓒ国民の人権を守る役割がある。このため，ⓓ憲法を守らなければならないのは国家権力をもつ人（政治家や公務員）である。　　【4点】

**採点チェック**

* 憲法の目的が正しく書けている。

…ⓑ（国家権力を制限する，権力を分立させる），ⓒ（国民の〈基本的〉人権を守る）〈各１点〉

* 歴史的背景をふまえている。…ⓐ〈１点〉。国王の恣意的な政治で人々が虐げられた(人権が無視された)内容であればよい。
* 憲法の対象が何（だれ）か，正しく書けている。…ⓓ〈１点〉。「国民ではなく，国家権力をもつ人に憲法を守る義務を課している。」でもよい。

**評価例**　　技能②-(イ)-(Ｂ)など…別紙「技能」の評価ポイント表を参照

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | Ａ | Ｂ | Ｃ（Ｂにするために） |
| (1)　情報を正しく読み取れた。　技能②-(イ)-(Ｂ) | ４点 | ３点 | ０～２点資料文から，「生まれながら」に当たる部分を探そう。 |
| (2)　情報を正しく読み取れた。　技能③ | 必要箇所を正しく抜き出せた。 | 抜き出す部分はおおむね正しいが，不足がある。 | 資料文から，採点チェックに該当する部分を探そう。 |
| (3)　市民革命やそれを支えた思想の意義を理解できた。 | ３点 | ２点 | ０～１点政府は国民の権利を守るためにあるという考えが，いつ確立し広まったのか，歴史の学習を振り返ろう。 |
| (4)　法の支配における法（憲法）とは何かを理解できた。 | ４点文章が正しく組み立てられていること。 | ３点 | ０～２点国王（政府）の思い通りにさせない（国民の権利を権力者から守る）ためにはどうしたらよいか，考えよう。 |

**理解を深めるミニ解説**

(1)～(3)　中世ヨーロッパでは，身分は神が与えたもので変えようがないと考えられ，人々は国王や貴族などの権力者に虐げられていた。17～18世紀に活躍した思想家，ホッブズやロック，ルソーは社会の成り立ちに目を向け，国王や政府がなぜ権力をもっているのか，権力とは何のためにあるのかを考えた。彼らは，人は生まれながらに権利をもっており，その権利を守るために人々は政府をつくったと考えた（社会契約説）。そして，身分は人間が作り出したものであり，人間の手で変えられるという考え方が生まれた。

政府（社会）は人民のためにあるという考えは市民革命を理論的に支え，人の支配から法の支配の政治への転換点となった。その後，主権者である国民の話し合いによって物事を決定する民主主義の価値観が世界に広まっていった。

(4)　「憲法は政府を入れておく檻（おり）である」といわれる。法という檻をつくって，国王（政府）に守らせる（権力を制限する）ことで，国民の人権が侵害されないようにする，ということである。国家権力を制限して国民の権利を守るものであり，このような法を文章で記したものが憲法である。人権を守るためのものであるから，憲法をつくるのは国民であり，基本的人権の尊重の内容がもりこまれていなければならない。

日本国憲法第99条には，「天皇又は摂政及び国務大臣，国会議員，裁判官その他の公務員は，この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ。」とあり，憲法の規定を順守するのは国家権力者であると定められている。

ただし，第12条「この憲法が国民に保障する自由及び権利は，国民の不断の努力によつて，これを保持しなければならない。……」とあるように，憲法の理念が壊されないように，擁護していくのは国民に課された役割である。つまり，権力者が国民のためにきちんと政治を行っているのかチェックし，選挙で自分たちの意思に沿う人をきちんと選んだり，政治のおかしい点に対してはおかしいと声をあげたりすることが大切である。